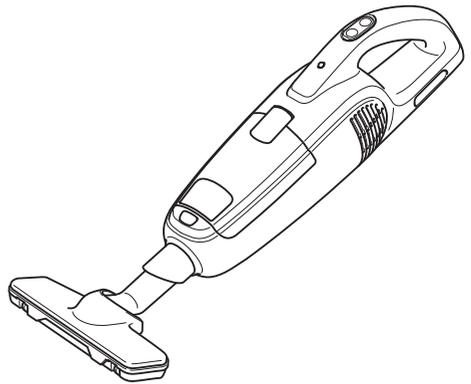


Makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **CL105D**
(充電器 DC1001 付)



このたびは充電式クリーナをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	15
・ 使い方	16
・ 充電の方法	16
・ スイッチの操作	17
・ バッテリ切れお知らせランプ	18
・ 標準付属品の使い方	19
・ ノズル	19
・ ノズル+ストレートパイプ	19
・ すき間用ノズル	20
・ すき間用ノズル+ストレートパイプ	20
・ ゴミの捨て方	21
・ ダストバッグの取り付け方	23
・ 紙パックの取り付け方	24
・ 保守・点検について	26
・ 保管方法について	26
・ お手入れは	26
・ ダストバッグのお手入れ	27
・ スポンジフィルタのお手入れ	27
・ スポンジフィルタの取りはずし方	27
・ スポンジフィルタの取り付け方	27
・ 修理について	28
・ 修理をお申し付けされる前に	28
・ バッテリを長持ちさせるには	29
・ バッテリのリサイクルについて	30
・ バッテリの交換方法	30
・ 充電式クリーナ 保証書	36

主要機能

主要機能	モデル	CL105D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
電圧		直流 10.8 V
連続使用時間		パワフル：約 7 分 強：約 10 分 標準：約 20 分
集じん容量		500 mL (ダストバッグ) 330 mL (紙パック)
本製品寸法		長さ 446 mm × 幅 113 mm × 高さ 136 mm (ノズル取り付け時の長さ 983 mm)
質量		1.0 kg (本製品のみ)

充電器	DC1001
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	8.5 VA
出力電圧	13.7 V
出力電流	0.505 A
充電時間	約 3 時間 (注 1)
耐用充電回数	約 500 回 (注 1)

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注 1：使用状況によっては充電時間、耐用充電回数は変動します。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、
してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

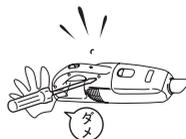
：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所やぬれた場所で使用しない。
 - 感電する場合があります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
 - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、スイッチに指がかからないように注意する。



- ゴミ捨て
- フィルタ類の清掃（お手入れ）
- 保管
- その他危険が予想される作業

- 使用済みのバッテリーを交換する際は、スイッチが入らないように注意する。



- スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリーを装着すると、急に動きだし事故につながります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
 - けがの原因になります。



⚠ 警告

- ・ 屋外で使わない。



- ・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。



引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

多量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

多量の砂や土砂

⚠ 警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。



- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。



- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。



- 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

・ 損傷した部品がないか点検する。



- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 温度が 50 °C を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。



- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ 内蔵のバッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

・ 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない安全な所、または鍵がかかる所に保管する。



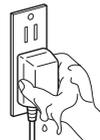
- ・ 事故の恐れがあります。

・ 雨中や湿った場所で充電したり、ぬれた手で電源コンセントや電源プラグ、給電プラグを抜き差ししない。

・ 充電器の電源プラグや給電プラグに金属片・水などの異物を近づけない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。



⚠ 警告

- 交流 100 V で充電する。



- 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグと給電プラグを抜いて充電を中止する。



- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 本製品専用の充電器以外は使用しない。



- バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器を本製品以外に使用しない。



- 充電器が電源コンセントに差し込まれたまま、充電器の給電プラグを本製品から取りはずして放置しない。



- 通電したままの充電器の給電プラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 警告

- ・ 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- ・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- ・ 本製品から取りはずしたバッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。
- ・ 分解、改造はしないでください。
- ・ 火中に投入しないでください。

- ・ 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。



- ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけど、失明の原因になることがあります。

- ・ マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。



- ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- ・ バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わない。



- ・ 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しない。



- ・ 発熱や破裂、発火の原因になります。

- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。



- ・ 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- ・ 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

- ・ 十分な防じん対策をしてください。



- ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用しないでください。



- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

- ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。



⚠ 注意

- ・ 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
 - ・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。



- ・ フィルタを正しく取り付ける。
 - ・ フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



- ・ 吸引口をふさいで長時間運転しない。
 - ・ 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- ・ 排気口をふさがない。
 - ・ 火災の原因になります。



- ・ 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。
 - ・ 本製品などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。



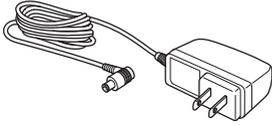
- ・ バッテリーは交換時以外では触らない。



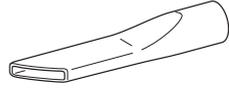
各部の名称および標準付属品

はじめに内容物を確認してください。

- 充電器 DC1001



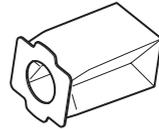
- すき間用ノズル



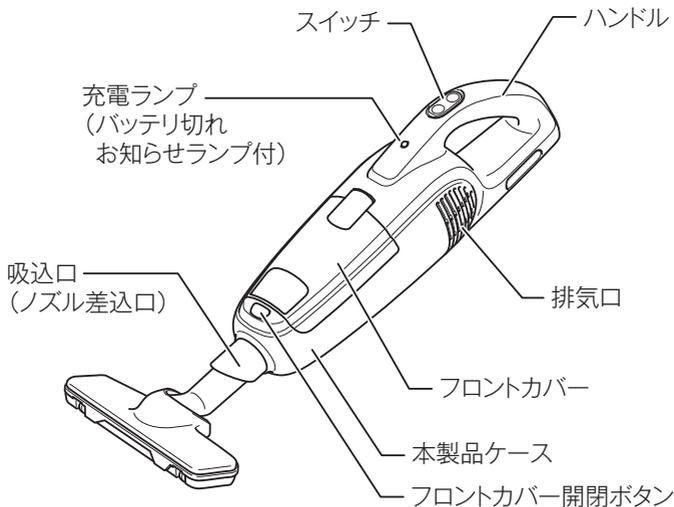
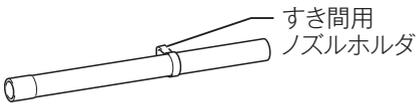
- ノズル



- 紙パック (10 枚入) (使い捨て)

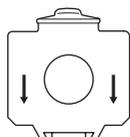


- ストレートパイプ



各部の名称および標準付属品

- ゴミストッパー
(購入時は本製品に取り付けてあります。)
- ダストバッグ
(購入時は本製品に取り付けてあります。洗浄して繰り返し使えます。)

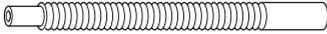


注

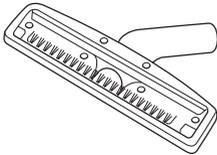
- ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用するので交換時に捨てないでください。

別販売品のご紹介

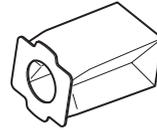
- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ フレキシブルホース
部品番号：A-37568（アイボリー）
部品番号：A-52526（レッド）
（自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。）



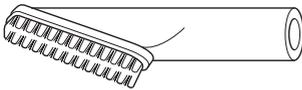
- ・ じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546（アイボリー）
部品番号：A-52504（レッド）



- ・ 紙パック（10枚入）
部品番号：A-48511

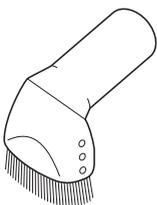


- ・ 棚用ブラシ
部品番号：A-37552（アイボリー）
部品番号：A-52510（レッド）



- ・ リチウムイオンバッテリー
部品番号：196885-1

- ・ ラウンドブラシ
部品番号：A-37471（アイボリー）
部品番号：A-52532（レッド）

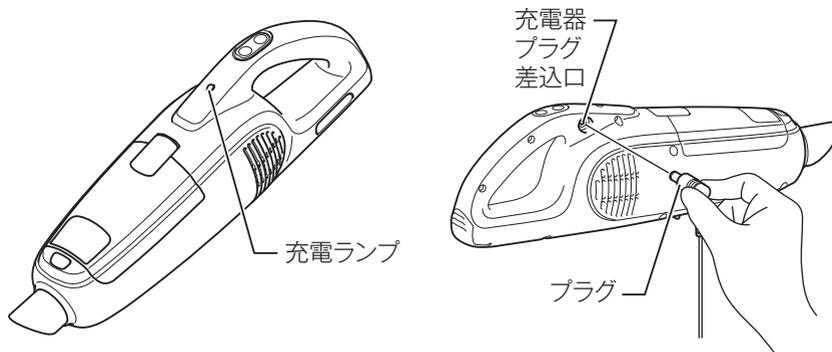


使い方

充電の方法

- ・ 初めてご使用になる前に、必ず充電を行ってください。

- ①充電器プラグ差込口に充電器のプラグを接続した後、充電器を家庭用コンセントに差し込めば、充電がはじまります。本製品スイッチ前側の充電ランプが点灯します。
- ②充電が完了すると充電ランプが消えます。充電時間は約 3 時間です。



⚠ 注意

本製品を立て掛けた状態で充電する場合は、ハンガーを市販のフックなどに引っ掛けてから充電してください (26 ページ “保管方法について” 参照)。または、本製品をねかせた状態で充電してください。

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

- ◎バッテリーには寿命があります。充電しても数 10 分で充電ランプが消えてしまう場合および充電しても使用時間が半分以下になった場合は、バッテリーの寿命 (不良、故障) と考えられます。このようなときは充電器を電源コンセントから抜き、バッテリーを交換してください。
- ◎バッテリーの耐用充電回数は約 500 回です。使用状況によって、この耐用充電回数は変動します。

注

- ・ 充電状態のまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ 充電完了後は本製品から充電器のプラグを、電源コンセントから充電器をはずしてください。
- ・ バッテリー温度が 0 °C 未満の場合、充電開始しない場合があります。

使い方

注

- ・ ご使用前にダストバッグまたは紙パックが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります（23 ページ参照）。
- ・ クリーナの紙パックは、本製品性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータの発煙、発火する恐れがあります。
- ・ 故障を防ぎ、バッテリーを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。

スイッチの操作

- ・ 本製品は必要に応じて「吸込力」を①強（10分）、②標準（20分）、③パワフル（7分）の3段階に切り替えて使用できます（カッコ内は連続使用時間）。

スイッチの操作は

① 強モード

- ・ 電源が切れている状態から「強 / 標準」ボタンを1回押すと本製品は強モードから作動を開始します。

② 標準モード

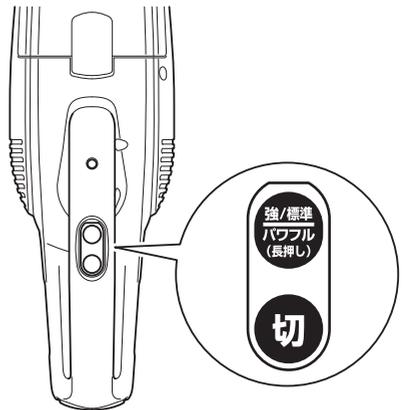
- ・ 強モードで作動中に「強 / 標準」ボタンを1回押すと標準モードに切り替わります。汚れが少ない場所の掃除に最適です。「強 / 標準」ボタンを押すたびに強モードと標準モードが何度でも切り替えることができますので汚れの状況に応じて切り替えてください。

③ パワフルモード

- ・ 強または標準モードで作動中に「強 / 標準」ボタンを押し続けている間、最も強いモード（パワフル）に切り替わります。押し続けるのを止めれば元のモードに戻ります。パワフルモードは作動中に何度でも使用できるので汚れのひどい場所でお使いください。

④ 停止

- ・ 本製品の作動を停止させるには「切」ボタンを押します。



使い方

バッテリー切れお知らせランプ

- ・ 使用中にバッテリーの容量が少なくなるとバッテリー切れお知らせランプが点滅します。
- ・ さらに、バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止し、バッテリー切れお知らせランプが約 10 秒点灯します。このときはバッテリーを充電器で充電してください。



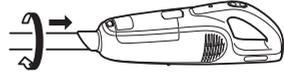
- ・ バッテリー切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

使い方

標準付属品の使い方

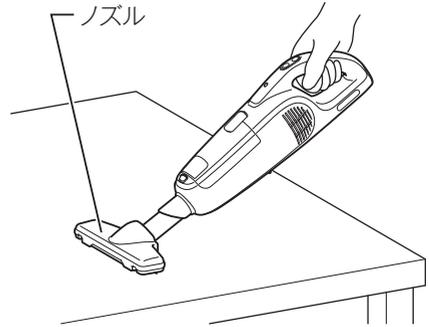
⚠ 注意

- ・ ノズルやストレートパイプは使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。



ノズル

- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接差し込んで、ご使用ください。



ノズル+ストレートパイプ

- ・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプを差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



使い方

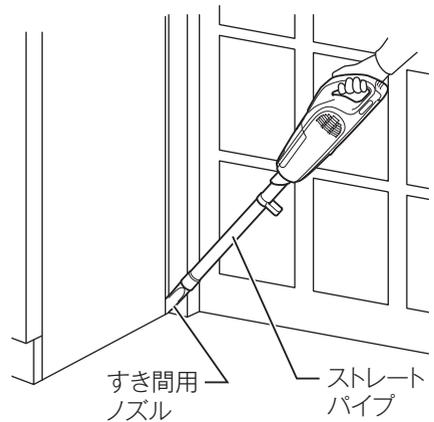
すき間用ノズル

- ・ 自動車の中や家具のすき間およびサッシの溝などを掃除される時は、すき間用ノズルを本製品に直接差し込んで、ご使用ください。



すき間用ノズル+ストレートパイプ

- ・ 家具の奥など本製品が当たって入らないときや高い所のすき間などを掃除される時は、すき間用ノズルと本製品の間にはストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。



使い方

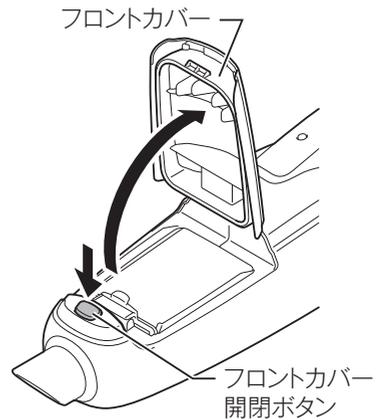
⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。指や棒などをファンに近づけないでください。
- ・ けがや故障の原因になります。

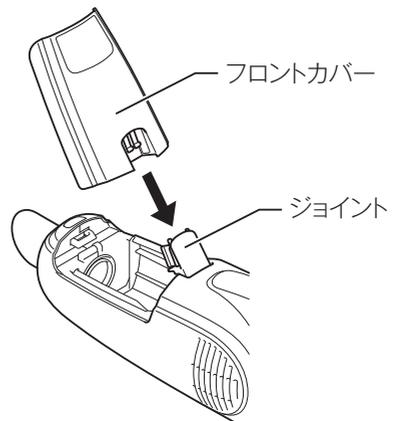
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押し、フロントカバーを開けます。
“カチッ”と音がするまで開けるとその状態で固定できます。



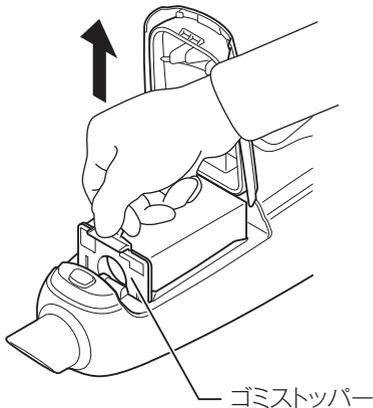
注

- ・ フロントカバーは90°以上開けようとすると、本製品からはずれる構造になっています。はずれた場合は図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。
- ・ フロントカバーを閉めるときには指をささないように注意してください。

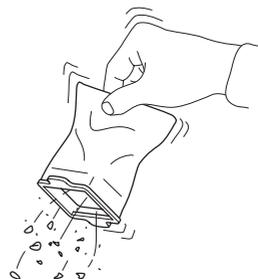


使い方

2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜き、ゴミストッパーを取りはずします。



3. ゴミを捨てます。



注

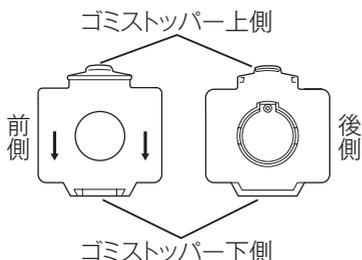
- ゴミストッパーを誤って捨てないでください。
- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本製品ケース内のゴミは必ず捨ててください。本製品内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください。

⚠ 注意

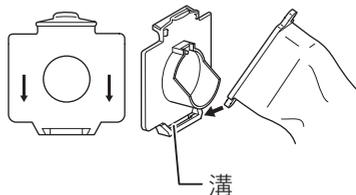
- ・ ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けてください。購入時にはあらかじめダストバッグが取り付けられています。
- ・ ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
- ・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます（27 ページ参照）。
- ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。再度使用はしないでください。目詰まりを起こして吸引力を落とします。

ダストバッグの取り付け方

- ・ ダストバッグの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。



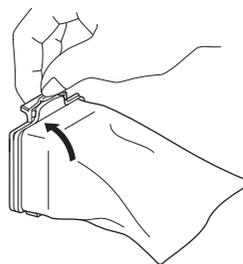
2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を差し込みます。

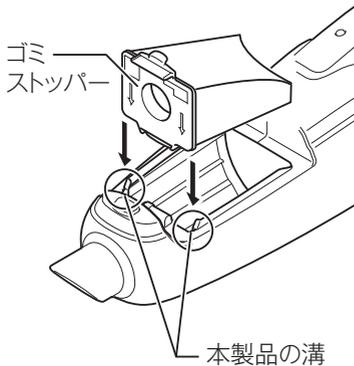


3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。



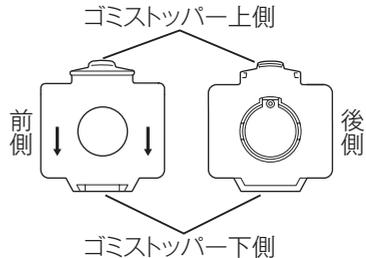
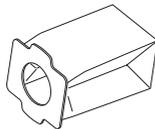
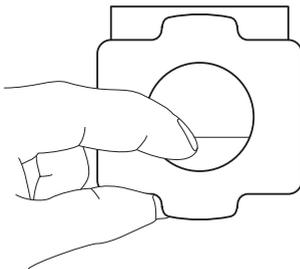
使い方

4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本製品の溝に奥までしっかり差し込みます。
5. ダストバッグの布側を本製品ケースに入れます。
6. フロントカバーを閉めます。(21 ページ参照)



紙パックの取り付け方

1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。



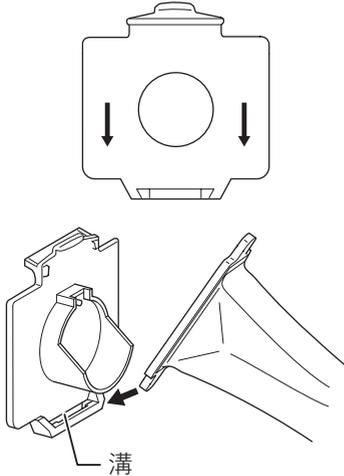
2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。



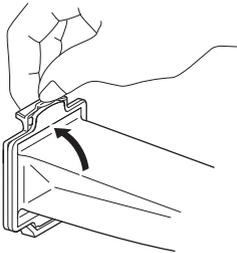
- 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けてください。

使い方

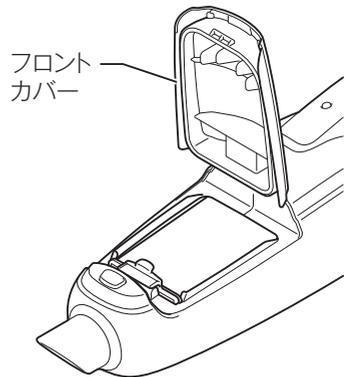
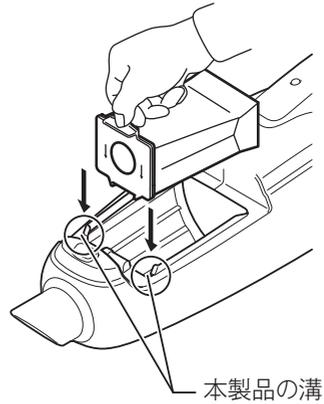
- 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。
- ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本製品の溝に奥までしっかり差し込みます。



- ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。



- 紙パックの袋側を本製品ケースに入れます。
 - 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

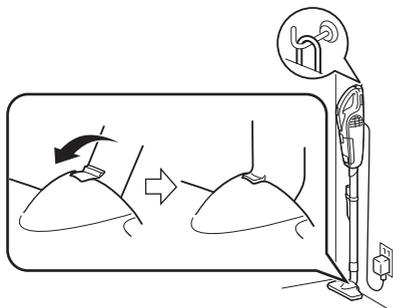


- フロントカバーを閉めます。
 - ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。

保守・点検について

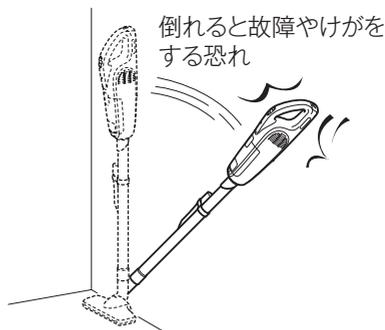
保管方法について

- ・ 充電するときや保管するとき、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本製品裏側のハンガーをおこし、市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。



警告

フィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

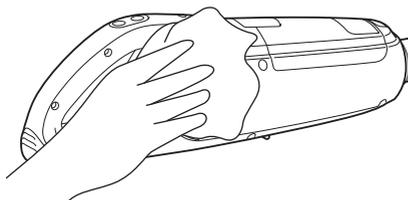
- ・ 不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。指や棒などをファンに近づけないでください。
- ・ けがや故障の原因になります。

お手入れは

- ・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。
- ・ 吸込口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。

注

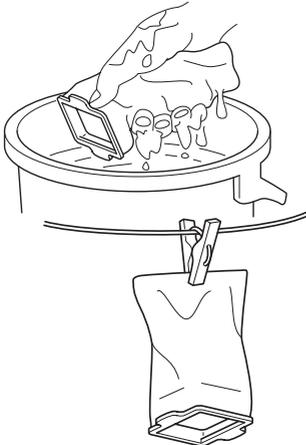
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。



保守・点検について

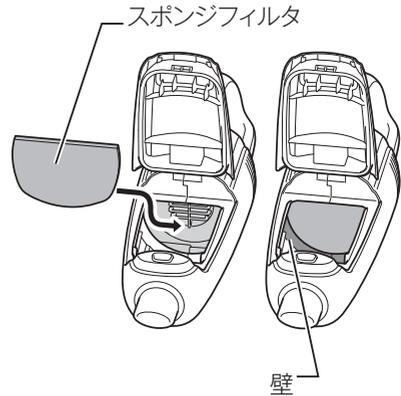
ダストバッグのお手入れ

- ・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。
※紙パックは使い捨てです。



スポンジフィルタの取り付け方

- ・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。



注

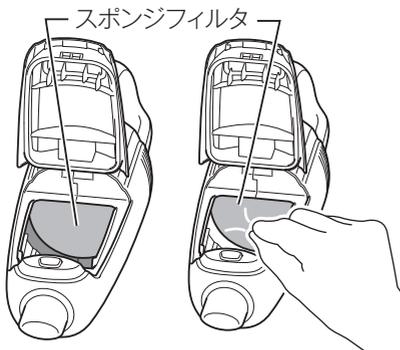
- ・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本製品にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。モータ故障の原因になります。

スポンジフィルタのお手入れ

- ・ スポンジフィルタの汚れは、本製品からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

スポンジフィルタの取りはずし方

- ・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。



修理について

修理をお申し付けされる前に

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い	<ul style="list-style-type: none">・ ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。・ ダストバッグが目詰まりしていませんか。・ 紙パックが目詰まりしていませんか。・ バッテリーが消耗していませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ ゴミを捨ててください。・ ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。・ 紙パックを交換してください。・ 充電してください。
動かない	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーが消耗していませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ 充電してください。
充電できない	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品のランプが点灯しない。・ 充電器のコードが傷ついていませんか。・ 本製品のランプが点滅し続ける。	<ul style="list-style-type: none">・ 充電器のプラグを本製品にしっかり差し込んでください。・ 充電器をコンセントにしっかり差し込んでください。・ 新しい充電器に取り替えてください。・ バッテリーが熱くないか、または冷えすぎていないか、バッテリーのコネクタがきちんと接続されているか確認してください。それでも直らない場合は修理をお申し付けください。

注

- ・ 上表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリーが寿命の可能性あります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。
- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けされる場合は、クリーナ本製品の他に充電器もいっしょにお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。
- ・ お使いの充電式クリーナは、バッテリーを内蔵しております。充電式クリーナを廃棄処分するときは、必ず内蔵のバッテリーを取りはずしてください。

修理について

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめて充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は気温 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

注

- ・ 使用直後や直射日光のあたる所に長時間放置した本製品に、充電器のプラグを接続し充電されると、充電ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、本製品の温度が下がると充電を開始します。

バッテリーのリサイクルについて

- ・ 使用済みのバッテリーは、リサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

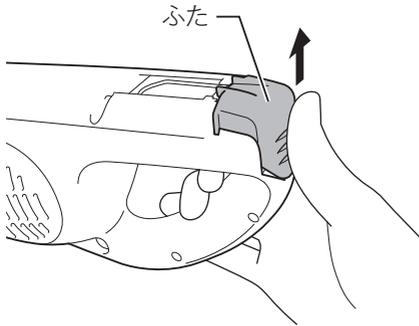
リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーの交換方法

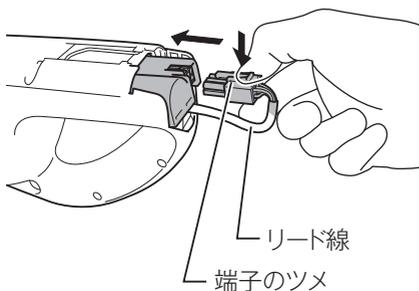
バッテリーの取りはずし方

(電源が OFF の状態で作業してください。)

- ・ 本製品後部のふたをはずします。

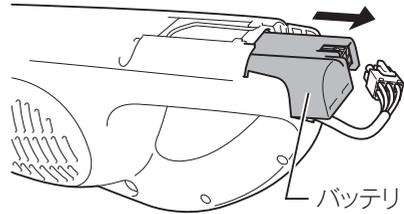


- ・ バッテリーを途中まで引き出し、端子の「ツメ」を押しながら、バッテリー本体を奥へ押し込んで端子をはずします。



注

- ・ 無理に端子を引っ張るとリード線が切れる恐れがあります。
- ・ バッテリーを引き出しますと取り出せません。



注

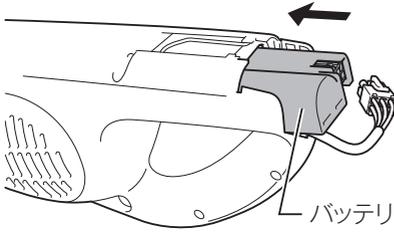
- ・ 取りはずしたバッテリーは短絡（ショート）しないように、端子部にはビニールテープなどを巻いてください。

バッテリーのリサイクルについて

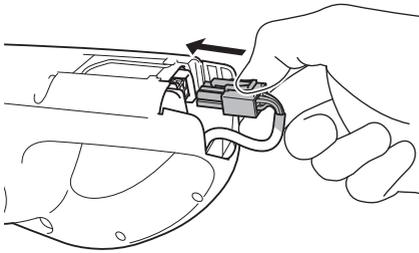
新しいバッテリーの取り付け方
(充電器をはずした状態で作業してください。)

取りはずしと反対の方法で取り付けてください。

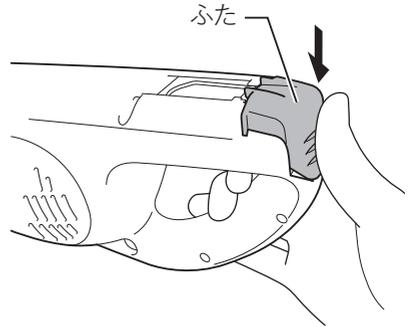
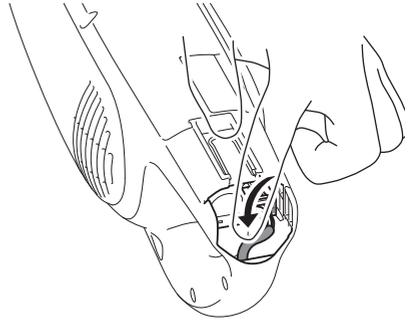
- ・ 図の向きに従ってバッテリーを本製品に入れます。



- ・ 端子を確実に奥までしっかりとはめます。



- ・ 配線を図のようにおさめて、本製品後部のふたを閉めます。



交換後はバッテリーを充電してからご使用ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882855E3

IWT